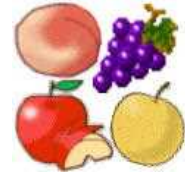




平成30年度 果樹情報 第19号

(平成31年3月26日)

果樹類の発芽状況と発芽予測
福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (3月第3～第4半旬：果樹研究所)

3月の平均気温は3半旬が6.3℃で平年より1.6℃高く、4半旬が7.9℃で2.3℃高く経過しました。この期間の降水量は27.0mmで平年比113%でした。

2 発芽状況 (果樹研究所)

- (1) ももの発芽は、「あかつき」が3月20日で平年より5日早く、「ゆうぞら」が3月20日で平年より6日早まりました。
- (2) なしの発芽は、「幸水」が3月25日で平年より8日早く、「豊水」が3月22日で平年より9日早まりました。
- (3) りんごの発芽は、「つがる」が3月21日で平年より5日早く、「ふじ」が3月22日で平年より6日早まりました。

表1 発芽状況

	発芽		
	本年	平年	昨年
あかつき	3月20日	3月25日	3月24日
ゆうぞら	3月20日	3月26日	3月23日
幸水	3月25日	4月2日	3月28日
豊水	3月22日	3月31日	3月27日
つがる	3月21日	3月26日	3月23日
ふじ	3月22日	3月28日	3月24日

注) 平年は1986～2015年の平均値。

3 開花予測 (果樹研究所における3月25日時点での予測)

今後の気温が平年並に経過した場合、もも「あかつき」の開花始は4月11日頃で平年より3日早く、なし「幸水」の開花始は4月19日頃で平年より2日早く、りんご「ふじ」の開花始は4月25日頃で平年より1日早いと予測されます。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるので注意しましょう。

表2 開花予測日 [予測方法：発育速度 (DVR) モデルによる発育予測]

品種	開花始		今後の気温経過		
	昨年	平年	平年並	2℃高い	2℃低い
あかつき	4月3日	4月14日	4月11日	4月8日	4月14日
幸水	4月11日	4月21日	4月19日	4月14日	4月23日
ふじ	4月17日	4月26日	4月25日	4月20日	5月1日

注) 発芽日および開花始の平年は、1986～2015年の平均値。

4 栽培上の留意点

各樹種の発芽は平年より早く経過していることから、開花も早まることが予測されるため、発育予測（表2）を参考にして、せん定やせん定枝処理、誘引、病虫害防除、摘らい等管理作業が遅れないように注意しましょう。

(1) りんご

近年、腐らん病の発生が多くなっています。休眠期の防除を徹底するとともに、発病部は削り取るかせん除しましょう。

うどんこ病のボケ芽等はせん定時に除去し、第一次伝染源の密度低下を図りましょう。
ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多い園では、休眠期の防除を実施しましょう。

(2) もも

休眠期防除は発芽前（りん片のゆるむ頃まで）に実施しましょう。

せん孔細菌病の春型枝病斑は、発芽10日後頃から発生する場合がありますため、見つけ次第せん除しましょう。

ハマキムシ類の発生が多い場合には、発芽期から開花期前後に防除を実施しましょう。

なお、有機リン剤は訪花昆虫に対して影響が大きいので、散布時期が遅れないように注意してください。

(3) なし

ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多い園では、防除を実施しましょう。

(4) ぶどう

晩腐病防除のため、休眠期の防除を徹底するとともに、病原菌が越冬している可能性が高い巻きひげや前年の房の取り残し、結果母枝の枯死部は丁寧に除去しましょう。

ハダニ類の発生がみられる園では、発芽前に防除を実施しましょう。

病虫害の発生予察情報・防除情報

病虫害防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>